

IRDBの現状と今後について

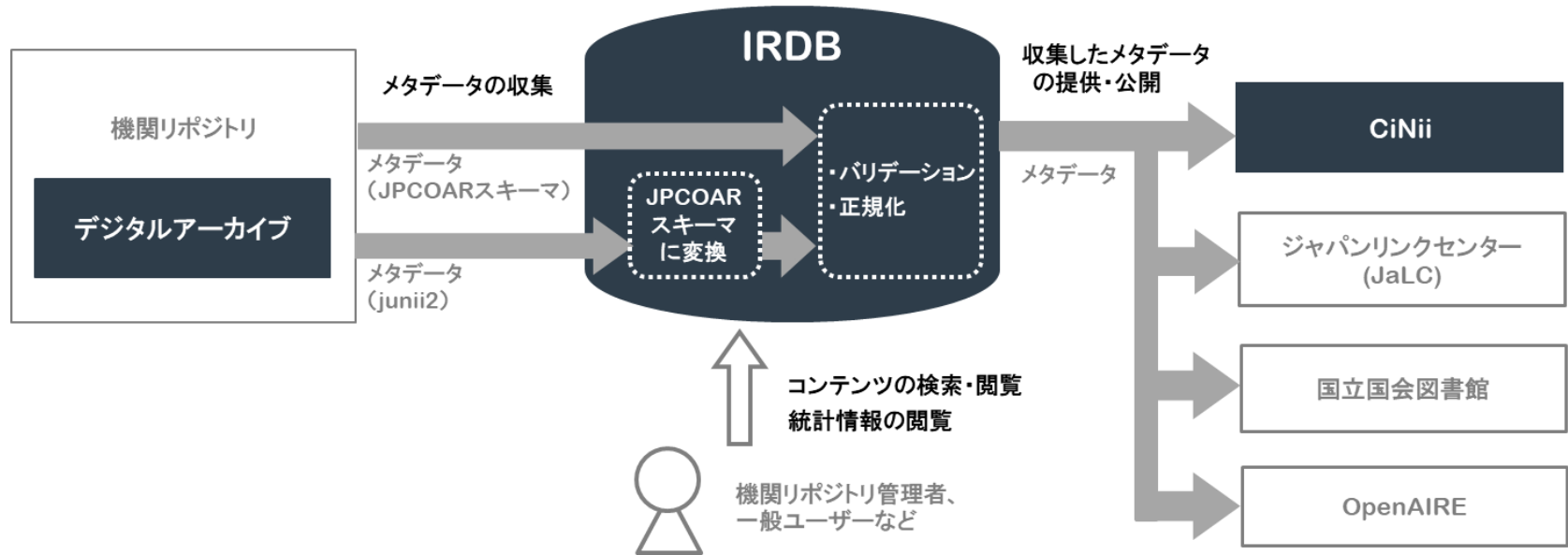
2022年3月22日
国立情報学研究所
学術基盤推進部学術コンテンツ課
増山 廣美

IRDBとは

- 「IRDB（学術機関リポジトリデータベース：
Institutional Repositories DataBase）
（<https://irdb.nii.ac.jp/>）は、日本国内の学
術機関リポジトリに登録されたコンテンツの
メタデータを**収集**し、**提供**するデータベー
ス・サービスです。」

「学術機関リポジトリデータベースサポート」より

IRDBとは



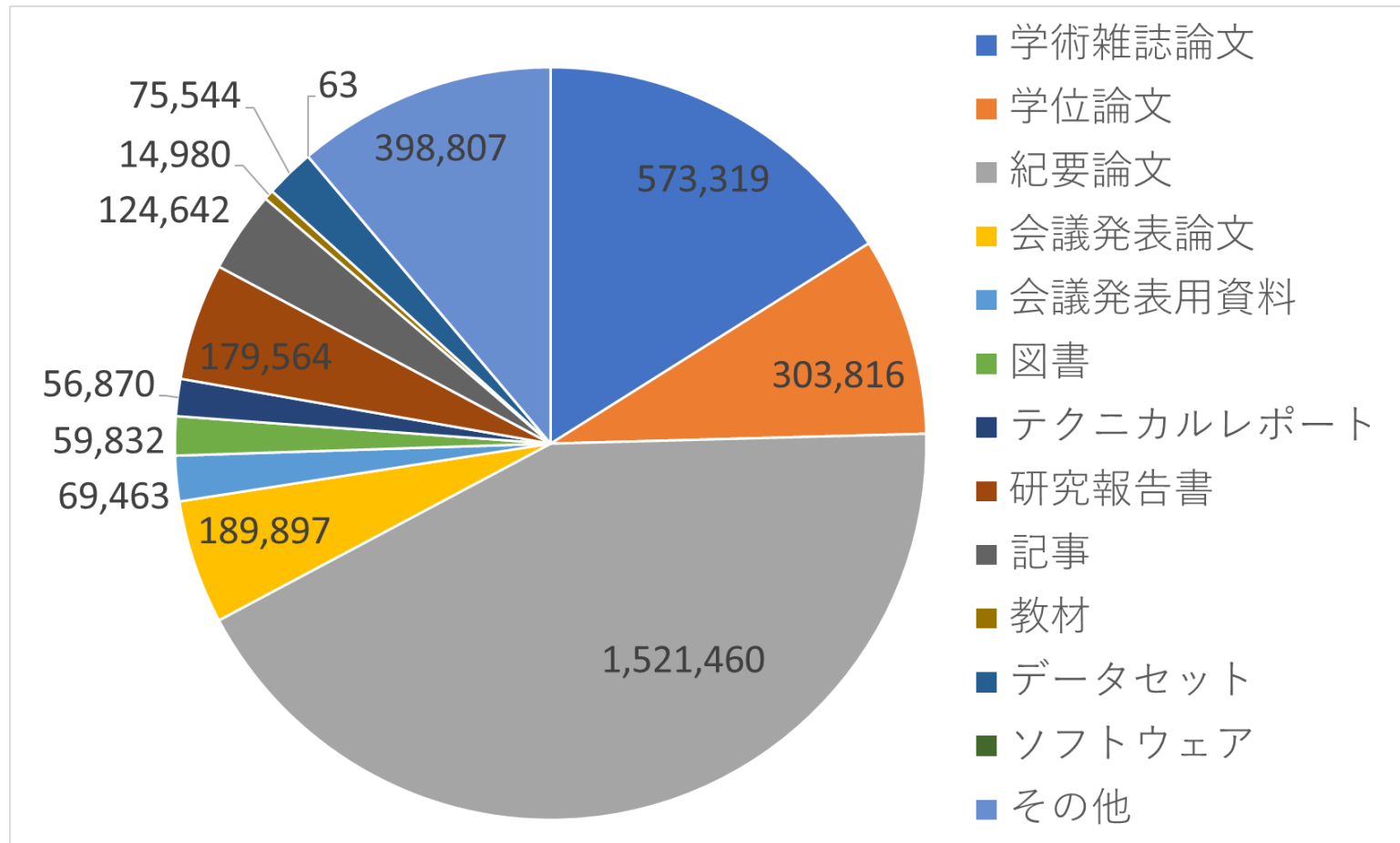
IRDBの<収集>機能

2022/2末時点で、

- 収集対象機関リポジトリ数：
763 件
- 収録コンテンツ総数：
3,568,257 件
 - 内、本文あり：2,679,928 件
 - 内、DOIあり： 649,575 件

IRDBの<収集>機能

● 資源タイプ別収録コンテンツ総数



IRDBの<収集>機能

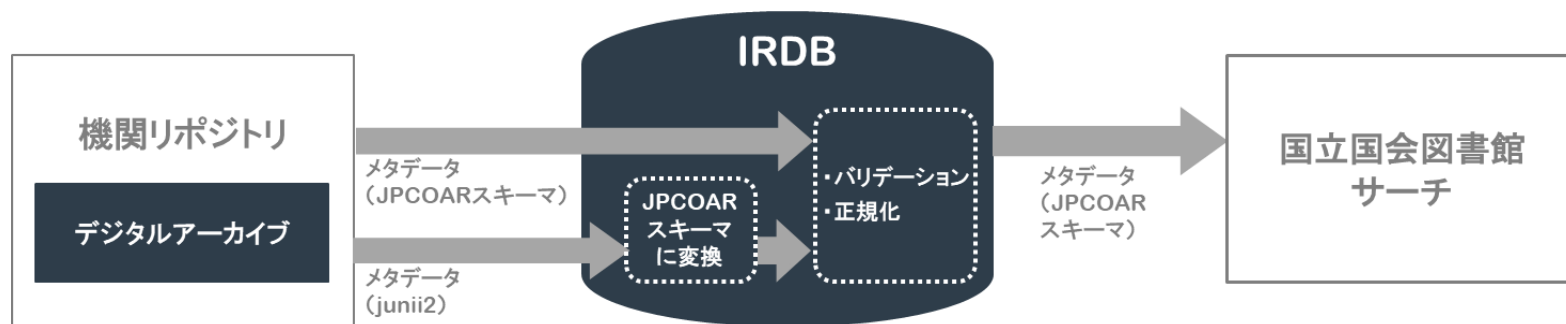
- 対応プロトコル
 - OAI-PMH
 - ResourceSync
- 対応メタデータスキーマ
 - junii2 ver.3.1（将来的にサポート終了予定）
 - JPCOARスキーマ ver.1.0.1
 - JPCOARスキーマ ver.1.0.2

IRDBの<提供> 機能

- 主な提供先
 - 国立国会図書館サーチ
 - 国立国会図書館デジタルコレクション
(博士論文の自動提出)
 - ジャパンリンクセンター (JaLC) (DOI登録)
 - CiNii (Articles/Dissertations/Research)
 - OpenAIRE
 -

IRDBの<提供>機能

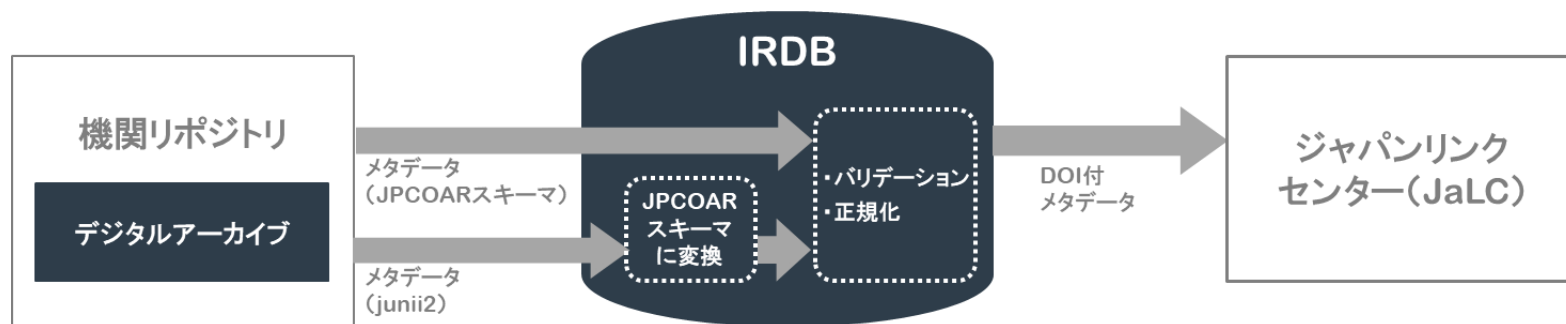
- 国立国会図書館サーチの例



- IRDB収録コンテンツを週次で連携
- 連携はOAI-PMH×JPCOARスキーマで実施
- 連携されたコンテンツはNDLサーチ上で検索・閲覧、公開元機関リポジトリへのリンクが可能

IRDBの<提供> 機能

- ジャパンリンクセンター(DOI登録)の例

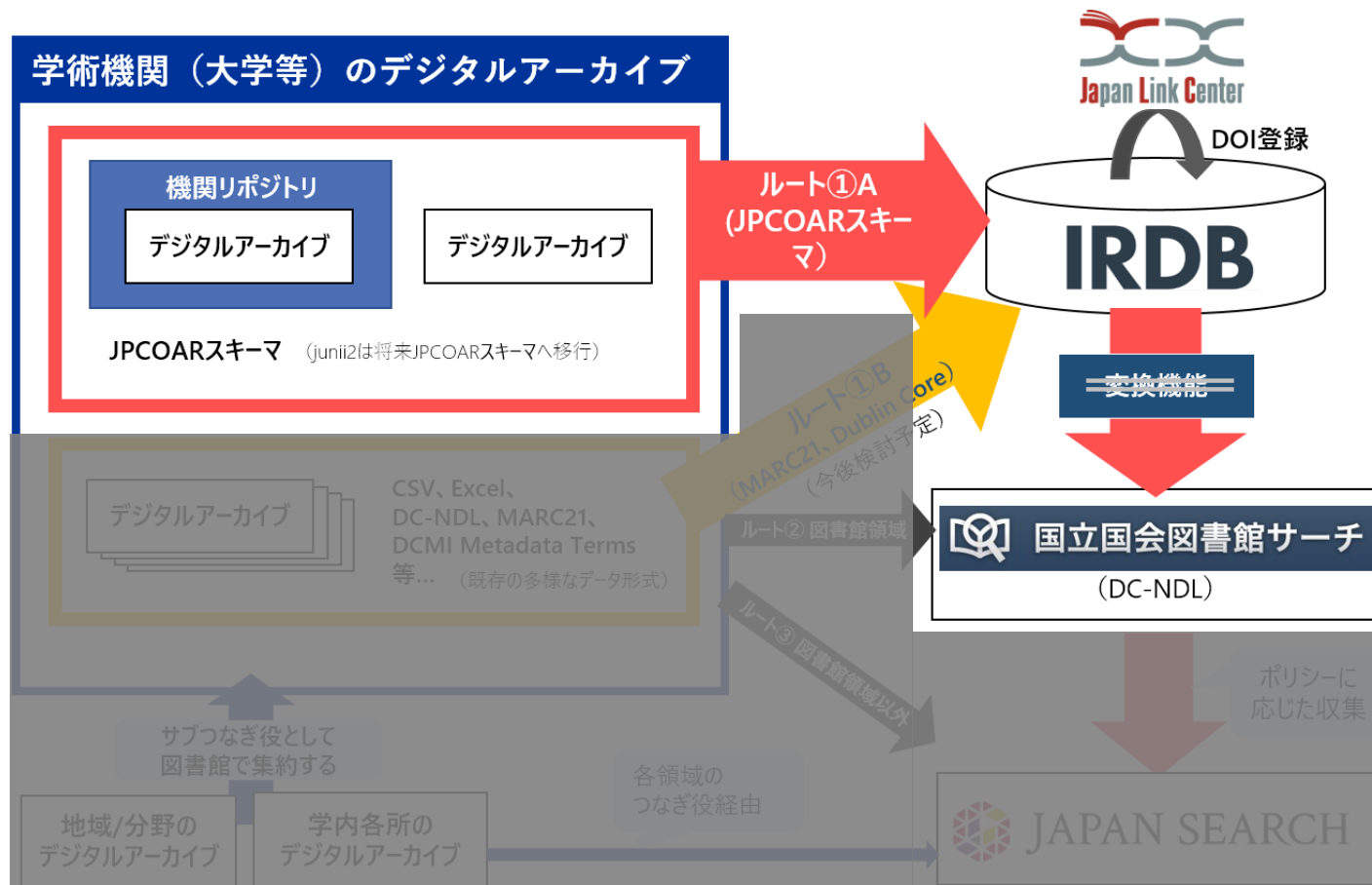


- IRDBに収録されたDOI付コンテンツを日次で連携
- 連携されたコンテンツのDOIは数日中に JaLCを通じて有効化され、コンテンツへのリンクが可能に

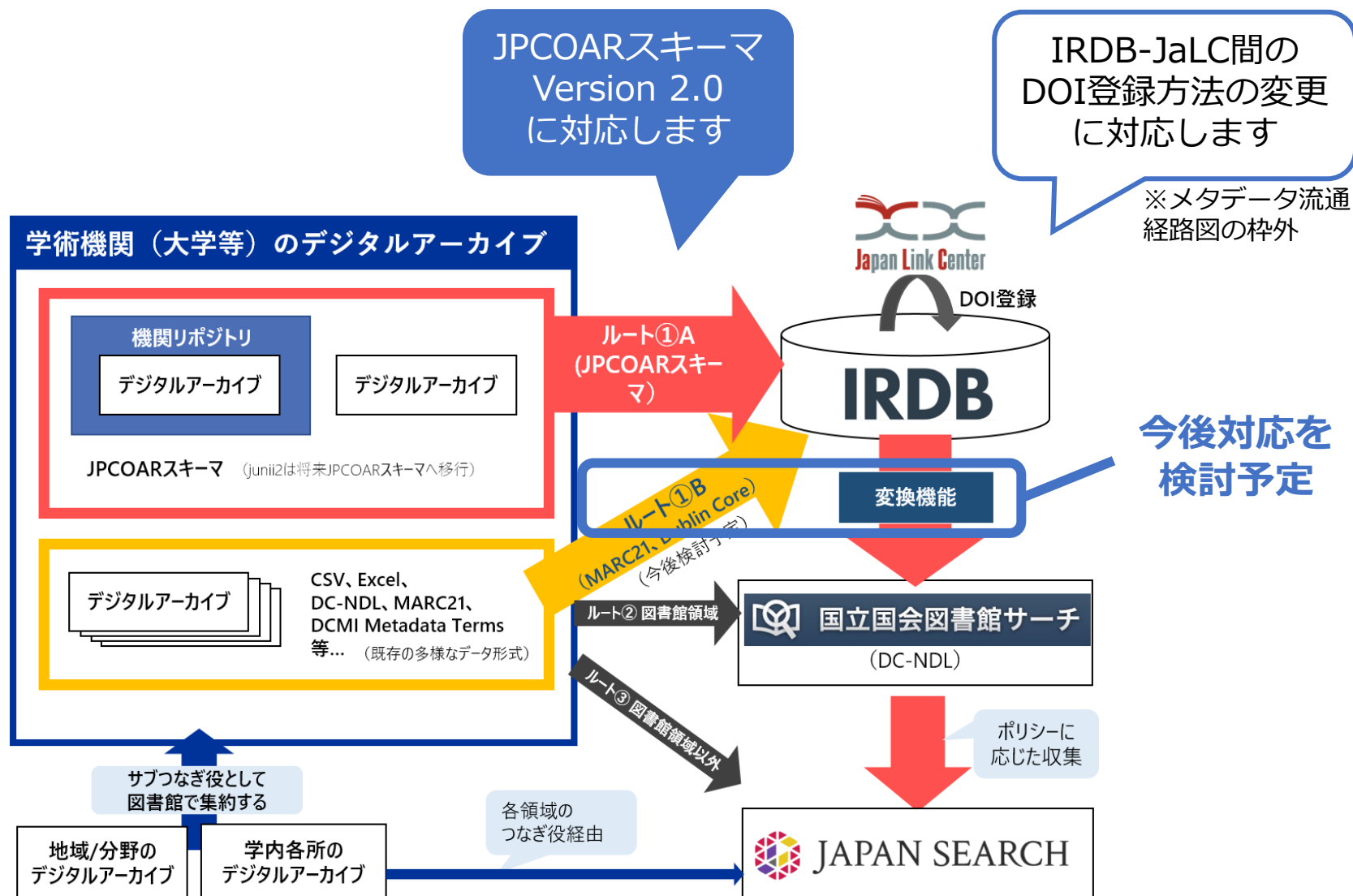
IRDBの<提供> 機能

- 対応プロトコル
 - OAI-PMH
- 対応メタデータスキーマ
 - junii2 ver.3.1 (将来的にサポート終了予定)
 - JPCOARスキーマ ver.1.0.1
 - JPCOARスキーマ ver.1.0.2
 - Dublin Core (oai_dc)

メタデータ流通経路図上の現状



今後の対応



JPCOARスキーマVersion 2.0対応

今後の予定

2021年度 第4四半期	JPCOARスキーマVersion 2.0策定方針の公開
2022年度 第2四半期	JPCOARスキーマ改訂
2022年度 第3四半期	IRDBシステム改修
2022年度 第3四半期	JaLC DOIガイドライン改訂
2022年度 第4四半期	研究データガイドラインの公開

「JPCOARスキーマVersion 2.0策定方針」より

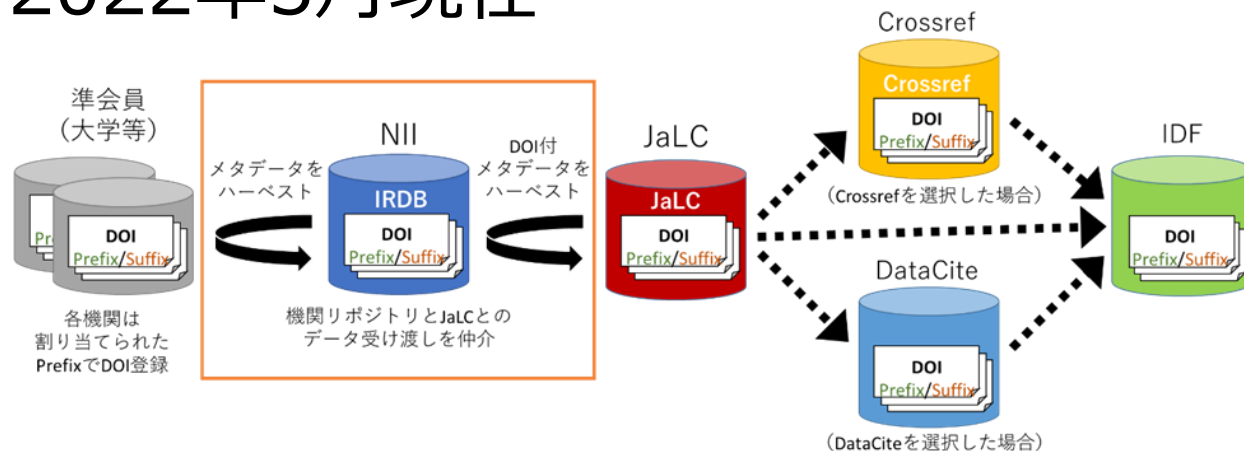
- JPCOARスキーマVersion 2.0による収集と提供に対応
- JPCOARスキーマVersion 2.0以外 ↔ JPCOARスキーマVersion 2.0の変換に対応
- なお、JPCOARスキーマver.1.0.1、ver.1.0.2も引き続き利用可能です。

JPCOARスキーマVersion 2.0対応

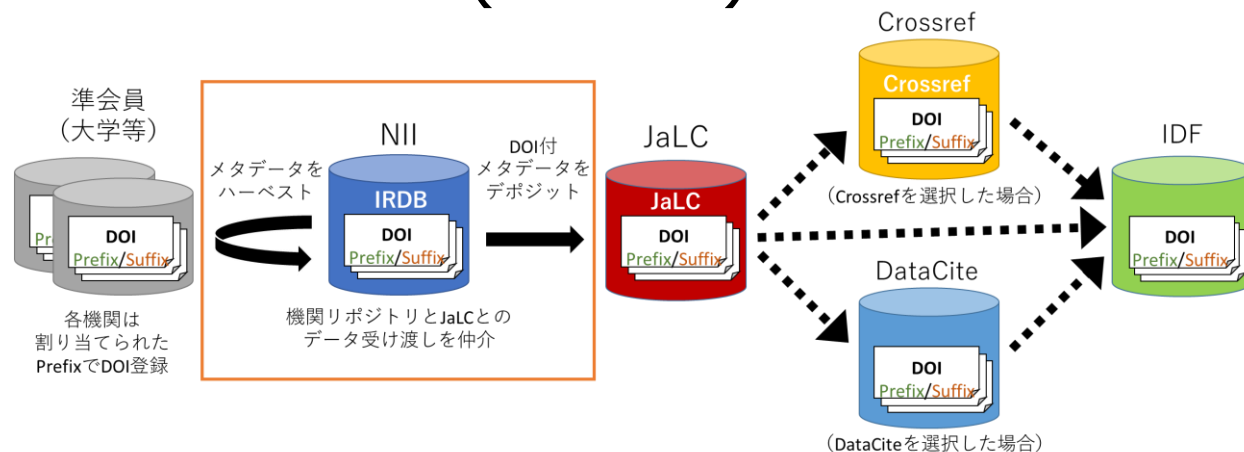
- 対応によって...
 - デジタルアーカイブに特有の情報を流通させられるようになります（例：コレクション単位の情報）
 - ライセンスの記述対象が増えることで、流通先で活用されやすくなります（例：ジャパンサーチ）
- JPCOARスキーマVersion 2.0によるメタデータの流通には、**IRDBからの提供先のシステム**でもJPCOARスキーマVersion 2.0に対応いただく必要があります。
→ぜひ対応をご検討ください。

IRDB-JaLC間のDOI登録方法の変更

- 2022年3月現在



- 2022年4月～(調整中)



IRDB-JaLC間のDOI登録方法の変更

- 登録方法変更によって...
 - メタデータスキーマの改訂に対応しやすくなります
 - DOI登録時の必須メタデータ項目が変わります
- 同時に、「抄録ライセンスフラグ」に対応します
 - 登録方法変更以降に条件を満たした「抄録」は、JaLCを通じた第三者による自由利用の対象になります
- 併せて、「IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン」を改訂します

ご清聴ありがとうございました。

今後ともIRDBをどうぞよろしくお願いいたします。

参考資料（1/2）

- 学術機関リポジトリデータベース（IRDB）
<https://irdb.nii.ac.jp/>
- 学術機関リポジトリデータベースサポート
<https://support.irdb.nii.ac.jp/>
- IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ
入力ガイドライン
 - JPCOARスキーマ編
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/160>
 - junii2編
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/215>

参考資料（2/2）

- JaLC 参加規約および運営規則の改正に伴う「抄録」の取り扱いについて | 学術機関リポジトリデータベースサポート

<https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/news/20210707>

お問い合わせ

IRDBに関するお問い合わせは以下よりお願いいたします。

- お問い合わせ | 学術機関リポジトリデータベースサポート
<https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/form/contact>